

TH Picks for Welfare

【発行日】 2025年7月1日発行

【発行元】 社・本郷 税理士法人 社会福祉法人部

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー28階

TEL：03-6871-9850【受付時間：9時00分～17時30分（土日・祝日・年末年始除く）】

URL：https://www.ht-tax.or.jp/

Webサイト



Vol. 17
2025.07

資金収支計算書の活用方法



社会福祉法人会計の大きな特徴のひとつとして、「資金収支計算書」の作成があります。すべての社会福祉法人が損益計算とは別に収支計算を行う必要がありますが、実施する事業によってその重要度が異なるため、実務上は軽視されてしまうこともあります。

今回は、資金収支計算書について次の4つの視点から解説します。

1. 資金収支計算書の歴史的背景

社会福祉法人を取り巻く環境として、平成12年度より前は措置制度や行政との実費弁償による委託制度であったため、事業の効率性よりも行政から支弁された公的資金が適切に配分・支出されたかどうか重視され、損益計算の概念はなく、収支計算のみを行っていました。



制度改正により「措置から契約」となり、会計基準が改正され損益計算の考え方が導入された現在でも、このような歴史的な経緯もあって資金収支計算を別に行い、「支払資金」の残高を把握する必要があります。

支払資金＝流動資産－流動負債（引当金等を除く）

流動資産：現金預金、事業未収金、立替金など^{※1}

流動負債：事業未払金、預り金など^{※2}

^{※1} 棚卸資産や徴収不能引当金、1年以内回収予定〇〇を除く

^{※2} 賞与引当金や1年以内返済予定〇〇を除く

2. 予実管理のツールとして

公金が投入される社会福祉法人は運営に透明性と厳格さを求められます。そのため、資金収支計算により資金の配分・支出を正確に把握しなければならないことに加え、事業計画の遂行にあたり、事前に予算の策定を行って、「支出の限度」を定める必要があります。予算は資金収支ベースで策定し、資金収支計算書では予算と実績値の対比という形で表示されます。

したがって、月次の会計報告の際に資金収支ベースで予算と実績値を比較することで、計画との乖離を確認することができます。乖離があれば、予算の積算に誤りがあったのか、それとも想定外の事象が生じたのかなど、原因を追究することで法人運営を見直すための契機となります。

3. 経営分析のツールとして

今日の社会福祉法人は、以前とは異なり、経営の自由度が上がった一方で、利用者ニーズの変化や各種コストの高騰、規制の厳格化、施設の老朽化・建替費用の確保など、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。そのため、継続的な経営を行う上で経営分析は重要です。特に、今日の社会福祉法人の中には経営状況が芳しくない法人も少なくなく、また物価高騰をはじめとした各種コストの高騰により短期的な資金繰りに不安があるという法人もあると思います。そうした短期的な資金繰りを検証するうえで、資金収支計算書は有用です。

分析の方法としては、事業活動資金収支差額率（＝事業活動資金収支差額÷事業活動収入×100）が挙げられます。本指標は資金収入と資金支出のバランスを示す指標であり、資金の獲得能力を表します。事業活動収支差額は借入金返済や将来の投資に向けた資金準備の原資となり、本指標の値がプラスであることが好ましいです。本指標がマイナスであれば、年間の収入で運営に必要な支出を賄えていないため、過去のストックを取崩して対応せざるを得ないことになります。なお、独立行政法人福祉医療機構から公表されている現況報告書等の集計結果によれば、事業活動資金収支差額率の平均値は6.7％となっております。



4. 長期的な視野での活用方法

また、長期的な視点でも資金収支計算書を活用することができます。例えば、施設運営をしていくうえで、避けることができない施設の建替えや大規模修繕を計画する際は、手元資金が必要資金に足りているかの検討資料として役立ちます。

手元資金	必要資金
当期末支払資金残高 + 積立資産（貸借対照表）	事業活動支出額×1/4 + 減価償却累計額 （貸借対照表）
	※国庫補助金等特別積立金 相当額（貸借対照表）を控除

手元資金

資金収支計算書の当期末支払資金残高に、法人内に長期的に留保されている資金である積立資産を加算します。

必要資金

社会福祉充実残額の計算を参考に、3ヶ月分を運転資金として、事業活動支出額の1/4相当額に、施設の老朽化を示す減価償却累計額を加算します。減価償却累計額ではなく、社会福祉充実残額の計算で使用する「将来の建替費用」を加算してもかまいません。

おわりに

一般の中小企業では義務付けられていない資金収支計算を社会福祉法人では行わなければならない、手数もかかります。一方で、上手く活用することで経営状況を正しく把握することも可能となります。ぜひ、資金収支計算書を別の角度から見てみましょう。